

ギハイだより

vol
160

平成28年11月1日



9月定例会号 ~主な掲載内容~



平成27年度決算の審査のため
特別委員会を設置しました。

→ 2ページ



本会議及び委員会中の地震発生を
想定した避難訓練を実施しました。

→ 10ページ

GIKAI DAYORI contents

決算審査速報	2~3
9月定例会の概要	4
一般質問	5~7
委員会レポート	8
審議結果	9
市議会避難訓練を実施	10
行政視察レポート	11

平成27年度 決算の審査速報

～皆さんのが税金はこの1年どう使われたのか～

一般会計

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
240億2,771万円	230億4,434万円	9億8,337万円	8億4,272万円

特別会計(国民健康保険など10会計)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
157億8,532万円	157億6,421万円	2,111万円	2,099万円

企業会計(収益的収支の状況)

会計	収 益	費 用	損 益
病院事業	47億6,940万円	47億3,913万円	3,027万円
水道事業	13億3,975万円	11億8,414万円	1億5,561万円

(円未満を四捨五入)



一般会計実質収支額は8億4,272万円(前年度比3.3%減)の黒字となりました。また、国民健康保険特別会計は、△9,702万円と、平成26年度に引き続き実質収支赤字となっています。

総務費

庁舎管理、統計、財務、選挙など市の全般的な管理に要する経費

35億8,482万円

民生費

児童・障がい者・高齢者福祉などに要する経費

63億165万円

衛生費

健診や予防接種などの健康づくり、塵芥・し尿処理などに要する経費

24億3,023万円

農林水産業費

農業・水産業の振興、農道の整備などに要する経費

5億55万円

商工費

商工業の育成、観光振興などに要する経費

3億9,747万円

土木費

道路や橋梁、公園、公的賃貸住宅の維持管理などに要する経費

13億3,121万円

港湾費

坂出港等の港湾及び漁港の維持管理などに要する経費

3億6,428万円

消防費

消防や風水害等の災害防除並びに災害発生時の活動に要する経費

9億7,457万円

教育費

幼小中学校の管理運営、生涯学習、文化財保護などに要する経費

18億9,246万円

特別委員会を設置して決算認定議案を集中審議!!

市議会では、決算審査特別委員会を設置して「予算が適正に使われているのか」「それぞれの予算を使って取り組んだ事業は期待通りの結果となっているのか」を審査します。

閉会中の継続審査として集中的に審査された決算認定議案は、12月定例会にて表決が行われる予定です。

【総務費】

本庁舎の建て替えについて、多額の建設費に対応するため、平成22年度より総事業費の2分の1を目指しに庁舎建設積立基金への積み立てを計画的に進めています。平成27年度末時点で積立額は約10億円となっています。

Q 今後の積み立ての方針は。

A 昨年8月に基本設計を策定しましたが、事業費が当初の計画より大幅増となったことから、その縮減に努めてきました。引き続き基金への積み立てを継続し、将来の負担軽減を図るとともに、実施設計にも取り組んでいきます。

【農林水産業費】

Q 農作物への鳥獣被害について、これまで捕獲補助金などの取り組みによって減少傾向にはあるが、劇的な改善には至っていない。近年、ジビエ料理が人気を博していることから、本市も処理施設を導入しては。

A 本市単独で施設を整備しても費用対効果が見込めず、国の補助を受けることができません。一方で、他県において移動式解体処理車の実証試験が行われており、その成果や補助制度の動向を見ながら検討を進めていきます。

【消防費】

Q 前年に比べ救急出動件数や病院に収容した人数が増加しているが、その要因と今後の対策は。

A 高齢者の搬送件数の増加や熱中症により救急搬送されるケースが増えたことが理由であると考えられます。救急需要の増加に対しては、救急救命士を増やすとともに、経験豊富で指導的立場にあたる指導救命士を配置して質、量ともに体制の充実を図ることで対応していきます。

【衛生費】

Q 香川県が若い世代の子宮頸がん検診受診率向上のため、検診車を大学などに派遣し、20歳からの受診を推進していく予定と報道されていた。がんに対しては早期発見が重要であるが、本市の考えは。

A 本市は検診車を所有しておらず、関係機関に委託をしている状況です。また、市内には大学等がないため、同様の事業をすることは困難ですが、保育所等の保護者などを対象に関係各課と協力して若年層の受診率向上に努めています。

【商工費】

Q プレミアム付商品券の効果は。

A 商品券の購入をきっかけに、新たに約7,000万円の消費意欲が喚起されました。事業所からは、新規の来客が増加したとの声が寄せられています。

Q 『委員の意見』商品券の約6割が大規模店舗で使用されている。消費喚起が目的ではあるが、今後同様の事業を実施する際には地元商店街での利用が促進されるように検討してほしい。

【教育費】

Q 小児生活習慣病予防健診において、要指導や要受診となるいる児童が年々増加しているが、どのように対応しているのか。

A 普段から授業等を通じてこの健診の意義や生活習慣病等に関して説明しています。要受診となった際にはすぐに保護者へ通知し、医療機関への受診を依頼しています。また要指導となった際には、保護者の協力のもと3カ月間にわたる生活習慣の改善等に努めており、いずれの場合も再検査においては改善されています。

決算審査の日程

10月 3日（月）	総務消防委員会関連 (総務部・消防)
10月 4日（火）	教育民生委員会関連 (健康福祉部・市立病院)
10月11日（火）	教育民生委員会関連 (教育委員会)
10月12日（水）	市民建設委員会関連 (建設経済部・農業委員会・水道局)
10月17日（月）	市民建設委員会関連 (市民生活部)
11月10日（木）	総括・まとめ

委員構成

【委員長】	若谷 修治
【副委員長】	鳥飼 年幸
【委 員】	植原 泰 東原 章 齊藤 義明 茨 智仁 松成 国宏 楠井 常夫



9月定例会の概要

9月定例会では、初日に市長から補正予算案3件、水道事業剩余金の処分に関する議案1件、平成27年度の決算認定13件の計17件が提案され、決算認定を除く4議案について各常任委員会での審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には人事案件3件、意見書案1件が追加提案され、いずれも同意または可決しました。

(議案の審議結果は9ページをご覧ください。)



B型肝炎ワクチンが定期予防接種に追加されます。

一般会計補正予算 418万円

平成28年10月より、B型肝炎ワクチンが定期予防接種に追加され、無償で受けることができるようになります。

対象となるのは平成28年4月1日以降に出生した生後2か月以降1歳未満の乳児で、全3回の接種が必要です。

(※満1歳以上のお子様でも接種することはできますが、全額自己負担となります。)

B型肝炎とは

B型肝炎ウイルスにより発症する病気です。多くの人は発症後数カ月で治りますが、慢性化すると、肝硬変や肝臓がんへ進行する場合があります。



補正概要

総務費

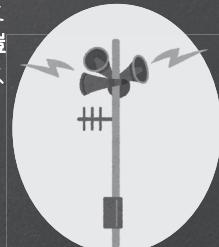
防災行政無線工事 420万円

防災行政無線が聞こえづらかった府中町榎(はりのき)地区にスピーカーを増設

教育費

競技用備品購入 400万円

東京オリンピックに向け、カヌー競技の事前合宿誘致のためカヌー艇等を更新



一般質問



(建設・経済部長)

質問の主な項目

- ・チャレンジショップの取り組みについて
- ・市制施行75周年記念行事について
- ・新県立体育館誘致について

A 香風園では、毎年観月会を開催しており、園内のライトアップやピアノ、ジャズ、地元高校の吹奏楽部の演奏などのイベントを行ない、非常に多くの方がご来場されています。

駅から徒歩3分という優れた立地にあることから、今後も観月会やまちあるきのイベントを通じて積極的なPRに努めています。

Q 香風園の独特な和の雰囲気は非常に魅力的である。香風園をより積極的に活用することで本市の観光資源として県外にアピールすることができるのではないか。

香風園の雰囲気を生かし、より積極的な活用を

出田 泰二 議員
市民の声



本市の公共施設の適正管理に向けた取り組み状況は

Q

新聞報道では、本市の人口1人当たりの公共施設の延床面積は、適正と言わわれている2坪を上回っているが、どのように捉えているのか。

A

市内に島しょ部があるなど地理的な事情等により、このようない結果になったと推測されます

が、人口や市の面積など、各自治体の置かれた状況は様々であり、適正な面積基準についても一概には決められないと考えます。

いずれにしても、公共施設の状況を把握し、長期的視点から管理していくための公共施設等総合管理計画を現在策定しているところです。本年中にパブリックコメント等を行う予定であり、策定された際にはホームページにて公表いたします。

(総務部長)

質問の主な項目

- ・遊休農地の状況と解消について
- ・鳥獣処理施設の導入について
- ・姉妹都市との交流について

今後、県において耐震化の基本計画が策定される予定であり、耐震化に向けた整備を進めていきます。

(建設・経済部長)

Q 鞍谷池は、県の耐震診断の結果、安全基準を満たしていないことが判明したが、調査内容や今後の対応は。

A

平成25年度より香川県によるボーリング調査や南海トラフ地震を想定した詳細診断が実施され、先般有識者による会議で検証した結果、震度5弱の地震が発生した際に堤防決壊のおそれが高く、補強工事が必要と判断されました。

A ハーフマラソン導入の要望が多くのことは認識していますが、ランナーの増加が見込まれ、トイレや駐車場などの設備拡充やスタッフの増員が必要となります。また、大会中に自動車を片側交互通行としている区間が延び、ドライバーの待ち時間が長時間となるほか、一部狭隘でランナーとのすれ違いが危険な箇所も残っていることから、実施は困難と考えます。

(建設・経済部長)



天狗マラソンにハーフマラソンコースを導入しては

Q

現在天狗マラソンは、最長でも15キロコースまでだが、改善も進んでいることから、当初より要望のあったハーフマラソンコースを導入する考えはないか。



現在天狗マラソンは、最長でも15キロコースまでだが、改善も進んでいることから、当初より要望のあったハーフマラソンコースを導入する考えはないか。

出田 泰二 議員
市民の声



本市の公共施設の適正管理に向けた取り組み状況は

東山 光徳 議員
新政会



齊藤 義明 議員
市民の声



平均寿命と比較して健康寿命を短くしている要因は何か



Q 府中湖カヌー競技場で東京オリンピック事前合宿や高校総体によるまちおこしを
A 事前合宿の誘致や高校総体の開催には、当然ながら施設整備が必要となってきます。今後、オリンピック関連予算やスポーツ振興くじ助成金などを研究しながら、トレーニング施設や見学席の改修等を県とともに進め、「カヌーのまちさかい」の推進に繋げていきます。

(市長)

質問の主な項目

- ・ふるさと納税の寄附額と財源流出額について
- ・坂出市健康づくり推進協議会の取り組みについて
- ・県へ移行した際の国保税について

A 「元気で長生き」を妨げている要因として食生活や生活习惯病が注目されており、その中でも糖尿病が問題視されています。本市の健康づくりの重点テーマの一つとして、各種イベントや健康教育・料理教室などを利用して糖尿病対策の啓発活動を実施しています。今後も県と協力しながら食生活の改善を推進し、特定健診などの健診事業を充実させ、「元気で長生きするまちづくり」を目指していきます。

(健康福祉部長)

Q 府中湖カヌー競技場で東京オリンピック事前合宿や高校総体が行われれば、本市はカヌー一色になる。「カヌーのまちさかい」の全国発信に向けた市長の覚悟は。

A 事前合宿の誘致や高校総体の開催には、当然ながら施設整備が必要となってきます。今後、オリンピック関連予算やスポーツ振興くじ助成金などを研究しながら、トレーニング施設や見学席の改修等を県とともに進め、「カヌーのまちさかい」の推進に繋げていきます。

Q 誰もが「健康で長生きし、人に迷惑をかけずに天寿を全うしたい」と思っている。しかし、実際は介護状態や長期入院をせざるを得ない方が大勢いる。「元気で長生き」を妨げているものとは何か。

A 「元気で長生き」を妨げている要因として食生活や生活习惯病が注目されており、その中でも糖尿病が問題視されています。本市の健康づくりの重点テーマの一つとして、各種イベントや健康教育・料理教室などを利用して糖尿病対策の啓発活動を実施しています。今後も県と協力しながら食生活の改善を推進し、特定健診などの健診事業を充実させ、「元気で長生きするまちづくり」を目指していきます。

A 普通会計における正規職員数に関しては、当面は第2次定員適正化計画で掲げた500人という人数を基準に、職員の年齢構成等諸条件を考慮しながら将来を見据えた適正な職員配置に努めます。また、非正規職員は市の業務の最適な執行体制の確保のために必不可少的な存在です。待遇改善については、法の規定を踏まえ、国動向や他の地方公共団体並びに民間企業の状況も参考にしながら、均衡の原則に基づき、適切に対応していきたいと考えています。

(総務部長)

質問の主な項目

- ・京町団地の改修について
- ・本市ブランド農産品の今後の見通しについて
- ・公衆浴場への支援策の内容について

野角 満昭 議員
日本共産党議員会



農作物の生産拡大策として、遊休農地を含めた農地貸借制度を創設すれば、農作物の生産拡大にもつながり、一石二鳥の事業となるが、どう考えているか。

Q 新たな農地貸借制度の創設については、農地の権利移動の手段を記した法律以外での公の貸借制度の創設は困難であると考えています。今後とも現行制度の周知に努め、農地中間管理事業をさらに積極的に活用し、農地所有格法人等への農地の集約化を進め、本市のブランド農産品の生産拡大に努めていきます。

(建設経済部長)



一般質問



(建設経済部長)

質問の主な項目

- ・第51回さかいで大橋まつりの総括について
- ・瀬戸内海の魅力の積極的活用について
- ・ラジオ体操のさらなる取り組みについて

A 総おどりの際には、各団体から2名の誘導員を選出いただき、前後の団体との間隔を調整していますが、全団体が一斉に踊るため踊り手も多く、スムーズに進行しないこともあります。

他市では、一方通行としたり、団体ごとに順番に踊ることとしているところもあり、どのような形態が最適なのか協賛会、運営委員会等で検討していきます。

(建設経済部長)

Q 会場が狭い、列が進まないなどの意見があるが、どのように改善していくのか。

Q で踊りづらいといった参加者の意見があるが、どのように改善していくのか。

Q 多くの外国人が香川県に来訪している中で、外国人観光客の誘致に向けた観光資源の発掘や情報発信の状況はどうなっているのか。

鳥飼 年幸 議員
市民グループ未来の会



外国人観光客の誘致に向けた本市の取り組み状況は

●各議員のQRコードを読み取ると、その議員の一般質問の様子が視聴できます。



ギカイを観る

本会議、委員会はご自由に傍聴いただけます。また、お体のご不自由な方も車いすのままで傍聴できますので、お気軽にお越しください。

ギカイを読む

本会議での質問や答弁などの発言は、毎回、会議録にまとめられ、図書館または市議会ホームページから自由にご覧になります。ぜひご利用ください。

ギカイを視る聞く

一般質問の様子は、ケーブルテレビ(KBN)の生放送とインターネット配信(録画)でご覧になれます。配信映像は市議会ホームページからご利用ください。

委員会

Report

付託議案
2件

教育民生 委員会

全議案全会一致で可決



坂出小学校の仲よし教室を増室します。

現在、坂出小学校では仲よし教室を2室設けていますが、利用者が非常に多いことや、今後対象となる学年が引き上げられること、利用できる空き教室がないことを考慮し、新たに建屋を新築し、2室増室します。

Q 他の小学校の状況や、今後の計画は。

A どの小学校でも利用者は非常に多い状況です。特に顕著な2校については、空き教室を利用して増室する予定です。他の学校については、今後の状況を見ながら各学校と協議していきます。



9月定例会の日程

9月 8日	本会議	提案説明
9月13日	本会議	議案質疑・委員会付託 決算審査特別委員会の審査
9月14日	本会議	一般質問(個人)
9月15日	本会議 委員会	一般質問(個人) 議会運営委員会の調査
9月16日	委員会	総務消防委員会の審査
9月20日	委員会	教育民生委員会の審査
9月21日	委員会	市民建設委員会の審査
9月27日	議員総会 本会議	委員長報告 委員長報告への質疑・討論・採決 追加議案の提案説明 追加議案への質疑・討論・採決

付託議案
1件

総務消防 委員会

全会一致で可決



府中町に同報系防災行政無線のスピーカーを増設します。

本年4月より放送を開始している同報系防災行政無線について、音声が聞こえづらいとの相談があった府中町榎(はりのき)地区にスピーカーを増設します。今回の増設により、市内全域をカバーすることができます。

Q 時期はいつごろになるのか。

A 発注から4ヶ月程度を要するので、本年度中を目途に設置します。



防災行政無線

付託議案
1件

市民建設 委員会



全会一致で可決

小山町にて配水管布設替工事を行います。

昨年の学園通りに引き続き、昭和10年に布設された配水管を耐震型のものに布設替するため、今年度は(株)マルカ北側交差点から、坂出中学校南側の貯水池までの区間で工事を行います。

Q 通勤通学の影響で交通量が多くなる場所なので渋滞が心配されるが、工事の開始と終了の時間は。

A 工事の開始は午前9時、終了は午後2時30分頃を予定しており、通勤通学の時間帯を避けています。また、車道も二車線整備されており、片側歩道も整備されているので、昨年の学園通りほどは渋滞にならないと考えています。



平成28年 9月定例会の審議結果

議員数=20名 表決参加議員数=19名
※議長は表決には加わりません。

全議員が賛成した議案
(可決・継続審査・同意)

市長提出議案

予 算

平成28年度坂出市一般会計補正予算(案)
(第3号)など 予算案3件

決 算

平成27年度坂出市一般会計決算認定など
決算認定13件

その他の議案

平成27年度坂出市水道事業剰余金の処分について
坂出市教育委員会委員の任命 など人事案件3件

議員提出議案

長柄ダム再開発事業の推進に関する意見書について

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【議案内容等・審議結果】を
ご覧ください。

意見書全文

長柄ダム再開発事業の推進に関する意見書

長柄ダム再開発事業は、綾川水系綾川の綾歌郡綾川町地先において既設の長柄ダムの再開発を行うものとして、平成7年より建設事業が進められている。

綾川は河川延長が短く急流であり、沿川地区はたびたび水害をこうむっているため、現在までに上流に長柄ダム(昭和28年)と田万ダム(平成2年)が建設され、河口から総計画延長15.8kmの河川改修も進められている。しかし、いまだ流下能力の不足する区間が多く、平成16年10月の台風23号による出水では、破堤及び未改修部からの溢水により、浸水家屋650戸、浸水農地249ha等の大きな洪水被害が発生している。

また、沿川の市街化の進展に伴い、洪水被害は増加していくことが予想されることから、地元住民は長柄ダム再開発の早期整備と現在実施中である河川改修事業の早期完成を強く望んでいる。

一方、綾川水系の水は古くから高度に利用されており、現在は長柄ダム、北條池、香川用水、ため池群等により水系沿川のかんがい区域への農業用水の補給を行うほか、中流部の府中ダムからは番の州工業地帯に向けて工業用水の供給を行っている。

しかし、綾川沿川においては取水に余裕があるわけではなく、毎年のように香川用水の取水制限が話題となっており、渇水時には長期にわたる香川用水の取水制限が行われ、流域の農業にも大きな影響があることから、渇水時でも安定した水利用のできる河川環境が強く望まれている。

このような地元の状況に加え、香川県においても「香川県ダム検証に係る検討委員会」を設置し「ダム事業の検証に係る検討」を重ね、本事業が治水・利水対策において最も有利であるとの総合評価を行い、平成27年8月25日には国土交通大臣に対して「継続して事業を進める」とした対応方針を報告している。

本事業は、既設の長柄ダムをかさ上げして治水機能を大幅に強化するなど、既存の社会資本を活用するといった点においても、大変意義のある事業であると考える。

よって、香川県においては、長柄ダム再開発事業及び綾川河川改修事業についてこれまで以上に推進を図り、事業を早期に完成させるよう強く要望する。

議会運営委員会での意見書案の各会派協議結果

市民の皆さん等が持参された陳情(議会に対する要望・希望)のうち、行政機関等への意見書の提出や議会の決議を求めるものについては、議会運営委員会において各会派の意見聴取を行います。このうち全会一致となったものは、議会運営委員会が提出者となり、意見書案を提出します。

長柄ダム再開発事業の推進に関する意見書

賛成： 反対：

市民グループ 未来の会	新政会	公明党議員会	市民の声	改進の会	日本共産党議員会	新緑	市民と共に
<input type="radio"/>							

9月定例会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市教育委員会委員

高尾 正彦 中橋 孝彦

◎坂出市固定資産評価委員会委員

豊田 實 大石 康夫 多田 友一

◎人権擁護委員候補者

久保 勝是 井上 賀博 木下 恵子
野村 亮子

坂下 正市 増田 成宣 宮本 賢一

池田 勉 木下 博文 植田 昌和

坂出市議会災害対策会議設置要綱を制定

市議会では、今般、市内において地震等の大規模災害が発生した場合に、市災害対策本部と連携し、議員の適切かつ迅速な対応により、市の災害対策を側面から支援し、市民の安全の確保や早期の復旧、復興を図るため、坂出市議会災害対策会議設置要綱を制定しました。

避難訓練を実施しました。



9月定例会最終日に、議会の本会議開催中の地震発生を想定した避難訓練を実施しました。

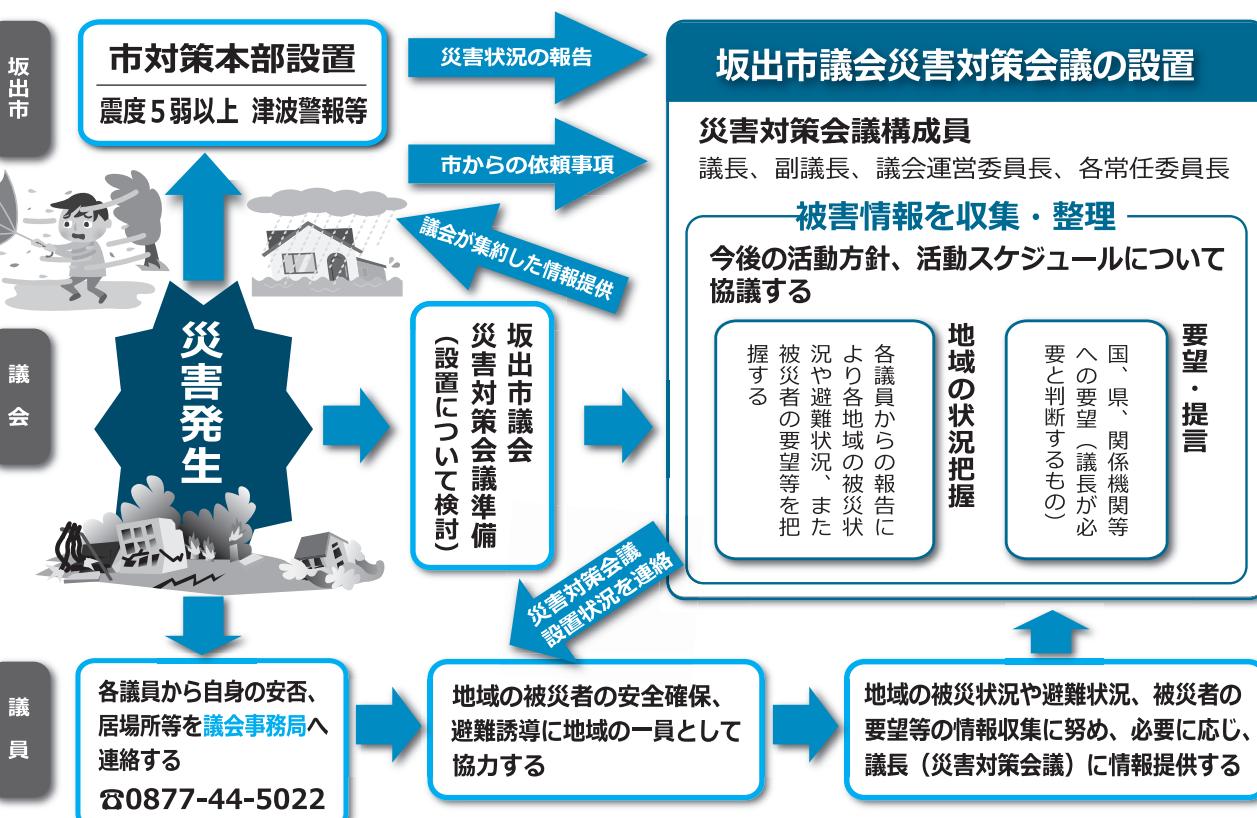
訓練では、一般質問中に緊急地震速報が発信され、出席者は安全な場所へ避難するとともに傍聴者を誘導、搖れが収まった後に市災害対策本部及び市議会災害対策会議が設置されるまでの議員、職員それぞれの動きを確認しました。

市危機監理室長からは、今回は初回ということもあり地震発生までに全員が避難できなかったことは残念であるとの感想に加え、地震の揺れで怪我をしてしまえば、事後の策をどんなに用意していても無駄になってしまうことから、まずは身を守ることが大切である。緊急地震速報が鳴れば、即座に周囲の状況を把握して、その場で身を守るのか、避難すべきかを判断し、行動してほしいとの講評を受け、防災に対する思いを新たにしました。

また、会期中の各委員会においても、審議中の地震発生を想定した訓練を実施しました。



坂出市議会としての災害発生時の対応について





先進事例を見てきました! 勉強してきました!

委員会では、付託された議案等の審査のほか、所管する事項の諸問題について調査を行っています。また、議会運営委員会においても、さらなる議会改革の推進等を図るため、調査を行っています。

議会運営委員会 7月13日～15日

愛知県一宮市 議会のICT化について

本会議の様子をインターネットでライブ配信しています。また、議場に大型スクリーンを設置し、一般質問の際にパソコンで図やグラフを示すことができるようになっています。

岐阜県可児市 ICT活用の取り組みについて

無料のグループウェアを利用して、議員同士の活発な意見交換や情報共有を促進しています。また資料なども添付でき、いつでもどこでも確認することができるようになっています。

岐阜県高山市 市民や各種団体との意見交換会について

市内20地区での地区別意見交換会や各委員会で設定したテーマに基づき、関連する団体との意見交換会を毎年実施して政策課題を把握し、市長への政策提言につなげています。



教育民生委員会 10月5日～7日

福井県越前市 夢ある子ども育成事業について

JFAと協定を結び、毎年すべての小中学校でスポーツ選手の講演(夢の教室)を行っています。その結果、将来に夢を持つ子供の割合が全国平均を大きく上回っています。

富山県富山市 お迎え型体調不良児保育事業について

保育所で保育中に体調を崩した子供を保護者が迎えに行けない場合、看護師のいる保育所へ移送し、引き続き預かる事業が始まりました。次年度以降も拡充していく見込みです。



岐阜県岐阜市 子ども・若者総合支援センターについて

子ども・若者に関するあらゆる悩み・不安の相談を受け、切れ目のない支援を行うため、福祉部門と教育部門の関係部署を統合した施設をつくりました。ワンストップで様々な相談ができ、保護者の利便性が高まっています。

全国から
坂出に!!



本市の施策を調査・研究するために、全国各地の議会が本市を訪れています。

7月1日から9月30日に来庁された5議会を掲載しています。

7月11日	兵庫県赤穂市	災害に備えて
15日	兵庫県豊岡市	公共交通政策について
19日	岡山県津山市	議会だよりについて
27日	宮崎県えびの市	公共交通政策について
8月10日	兵庫県加西市	市民後見人制度について



さかいでが好き!

In 駅前バル

昨年初めて開催され、好評を博した「バルin坂出」が今年も開催され、多くの来場者でにぎわっていました。

仕事帰りのOLやサラリーマン、イベントを見学していくご家族、通りすがりの旅行者など30組57名のかたにお話を聞くことができました。



Q

坂出市にやってほしいことは? (複数回答可)

結果

- | | | |
|-----------|----------------|-----------|
| 1. | イベントの充実 | 9票 |
| 2. | 駅前の活性化 | 4票 |
| 3. | 屋内型の公園 | 2票 |
| 3. | 街灯の整備 | 2票 |
| 3. | 商店街の活性化 | 2票 |

※他にも…交通安全対策、市営プールの復活
ヨットハーバーの整備 などなど

会場の雰囲気もあり、イベントや駅前に
関する意見が多く出ましたが、ほとんどの方が
「坂出をもっと元気に」という思いを
持っていました。

こんな意見もありました

- 学校と地域の連携強化
- 官民連携
- 交通機関、下水道などインフラ整備
- シルク・ドゥ・ソレイユの公演誘致

編集後記

市民広場でのラジオ体操が3年目の夏を迎えると同時に、本年7月21日から4会場目となる川津地区的ラジオ体操がスタートしました。一日の快適なリズムを整え、健康の維持・増進はもちろんのことですが、なにより地域のコミュニティづくりや子どもからお年寄りまでの世代間の交流が図れる場になっています。この2年間で改めて続けていくことの大切さをラジオ体操から学ばせていただきました。これからも市内全域に広げ、元気で笑顔あふれるまち坂出を市民共働でつくっていくとともに、子どもに託せるまちづくりのために議会としてもラジオ体操に、そして、さかいで創生に一生懸命取り組んでまいります。(鳥)

広報広聴委員会 委員長 出田泰三 副委員長 植原 泰
委員 東原 章 鳥飼年幸 茨 智仁
植條敬介 野角満昭 楠井常夫

次回開催は…
12月定例会を12月上旬
に開催予定です。

